



しお み ひ
潮の満ち引きはどうしておこるの

にち かい み しお ひ しお
1日2回ずつおきる満ち潮と引き潮

うみ みず たか まんちょう ひく かんちょう
海の水がいちばん高くなつたときを満潮、いちばん低くなつたときを干潮といいます。
まんちょう かんちょう にち かい み
満潮も干潮も1日2回ずつ見られます。

また、まんげつ しんげつ まんちょう かいめん もっと たか かんちょう かいめん もっと
また、満月や新月のとき、満潮のときの海面は最も高くなり、干潮のときの海面は最も
ひく おおしお
低くなります。これを「大潮」とよんでいます。

はんたい はんげつ かいめん たか さ もっと ちい こしお
それとは反対に、半月のときは海面の高さの差が最も小さくなり、これを「小潮」とよ
んでいます。

しお み ひ たいよう つき いんりよく げんいん
潮の満ち引きは太陽や月の引力が原因

ちきゅうじょう つき もっと ちか つき いんりよく つよ かいすい つき む あ
地球上の月に最も近いところでは、月の引力が強いため、海水は月に向かってふくれ上
ちきゅう はんたいがわ ちきゅう えんしんりよく かいすい つき はんたい ほうこう あ
がり、その地球の反対側では、地球の遠心力によって、海水は月と反対の方向にふくれ上
がります。

つき ました てん はんたいがわ まんちょう ちゅうかん かんちょう
月の真下の点とその反対側は満潮で、その中間が干潮となります。

つき にち かいちきゅう まうえ はんたいがわ かい にち かい まんちょう
月は1日1回地球の真上にくるし、その反対側にも1回くるので、1日2回ずつ満潮
かんちょう
と干潮がおこるのです。

たいよう つき ちきゅう いちやくせん まんげつ しんげつ いんりよく もっと つよ おおしお
太陽と月と地球が一直線にならぶ満月と新月のころは、引力が最も強くなるので大潮、
はんたい はんげつ つき たいよう いんりよく う け こしお
反対に半月のころ、月と太陽の引力が打ち消しあって小潮になるのです。

(監修 国司 真)

